

男女共同参画情報誌

じょいんと

じょいんと

Vol.17

2010年・春

●男女(ひと)の大切さを考える講演会
兼 桜ヶ丘高等学校文化講演会



周南市

男女ひとの大切さを考える講演会

兼 桜ヶ丘高等学校文化講演会



人権イメージキャラクター
人KENもる君・人KENあゆみちゃん

感謝の気持ちを言葉にして 相手に伝えよう!

平成21年11月2日に周南市文化会館において
桜ヶ丘高等学校生徒による男女共同参画をテーマとした
スピーチコンテストとアーティストESPERANZA (えすべらんざ)
によるトーク&コンサートが開催されました。



アーティスト
ESPERANZA (えすべらんざ)

プロフィール

2001年フジテレビで「ク
ローン病との闘病と再出発
『愛という名の奇跡』が放
映されたのをきっかけに奥
田良子さん(フルート&オ
カリナ)と夫の勝彦さん(ベ
ース)で結成されたユニット。

愛という名の奇跡!

難病・引きこもりを 乗り越えて光のステージへ

奥田良子さんは、21歳の時、医師から突然「あなたは、クローン病という難病です。一生治りません。」と言われ、演奏家になるという夢も奪われたような気持ちになった。その心を解きほぐし、前に進む勇気をくれたのは、「人との出会い」。
その中でも、心身ともに一番の支えとなってくれたのは夫の勝彦さん。夢であった音楽活動の再開ができたのも夫のおかげ。いつも2人であるので、ずっと会話をしてお互いのことを理解し、私ができないことは夫がしてくれる。してくれることを当たり前と思わずに、いつも「ありがとう」という気持ちを忘れないことが大事。そして、その感謝の気持ちを言葉にして、相手に伝えることがすごく大切。言ったつもりでは駄目、相手に届くように・・・
女とかが男とかが関係なく、生きるためには、お互いの気持ちを通じ合わせる事が大事だと思う。



スピーチコンテスト最優秀賞



「らしさって何？」

3年 竹尾 麻依

私は母から「女性なのだからもっと言葉遣いを良くしなさい。たまにはスカートを着きなさいよ。少しは髪を伸ばしたらどうかね?」とよく言われます。それを聞く度に私は男に生まれたかったなと思います。女性だからしなさいと言われるのは、おかしいと思います。女性だからか掃除や料理が出来て当たり前だと思われているのも変だと思っています。

男性の場合は、「男なら我慢しろ。根性を持て。人前で涙を流すな」と言われますが、これも変です。最近テレビ等で「草食系男子」とか「スカート男子」とか言われる人連を見る事があります。私の思っている男性像と全然違っていき、女性化している人が増えているのではないかと思います。逆に女性の方は、男言葉を使うというか、性格も強くなり自分の意見をしっかりと言う様になったのではないのでしょうか。

社会的な面にも目を向けても、少し前までの日本とは変わってきていると思います。「保育さん」が「保育士」になったり、「看護婦」が「看護師」と呼び方が変わってきたりしています。女性社会の中に男性の力が必要とされてきているからだと思います。男女雇用機会均等法により、女性の社会進出が目覚ましいものとなってきているのは事実です。しかし、我々高校生にとってはどうなのでしょう。高校に届く求人票には、男女不問と記載されており、男女どちらでも受けてよいとの事なのに、同じクラスの女子がある会社を受けたいと申し出たら、「男子がいい」と言われ、受けることができなかったそうです。男女不問といっても、職種によっては男子だけ、女子だけということが現実に行われています。

男性も女性も同じように生きています。一番大切な事は、私達一人ひとりがもつ個性をうまく出していき、自分の能力を時と場合に応じて上手に活用し、男女がお互いに協力して助け合っていく事だと思います。そして、それを受け入れる地域社会、会社の理解と協力ももっと必要になってくると思います。

一人ひとりが「男らしく」「女らしく」ということを忘れてはいけないと思いますが、「男のくせに」「女のくせに」とかいう言い方ではなく、個人個人の持ち味を伸ばし、責任を分かち合い、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮することができる社会になればいいと思います。

男女共同参画という特別な言葉を使ったり、特別なことをしたりするのではなく、お互いが認めあうことこそが、よりよい社会になっていくのではないのでしょうか。



講演会感想

- 男女平等、人との協力など、いろいろ大切なことについて深く考えさせられた。(高校1年生・男子)
- 言葉では何とでも言えるけど、お互いに平等という事を行って表している奥田さん夫婦は素敵だなと思いました。(高校1年生・女子)
- 自分も周囲の人たちの心の支えとなり、前みとなるような生き方をしていきたい。(高校2年生・男子)
- 人に気を遣うことは、その人のためであり自分のためになる。また、その人と良い関係を築いていくのに大切なことだと思いました。(高校2年生・男子)
- 何事にも感謝が大切だと思いました。あんな夫婦になりたい。(高校2年生・女子)
- 何気ない日常の会話こそがお互いのことを分かり合える一番のチャンスだと気付かされた。(高校2年生・女子)
- 妻を支える夫に感動し、夢を持っていき続けるというすばらしいことに感動した。(高校3年生・男子)
- とても勇気づけられる講演内容でした。努力、周囲の

- 助け、感動の言葉等、普段あたり前に使っている言葉がとても重要なことなんだと気付かされました。(30代・男性)
- えすべらんざさんの夫婦愛には感動した。このように支え合う、前向きなお二人に出会う機会を与えてもらってよかったです。ありがとうございます。(30代・女性)
- 難病などの困難を乗り越えた人の強さ、優しさを感じた。感謝の気持ち、言葉の大切さを改めて知り、実践していきたいと思った。(30代・女性)
- 自分の困難をプラスに前向きにとらえ、明るく生きていく姿勢に大変感銘を受けました。自分をふり返るきっかけをもらったように思います。今日のようなトークと音楽のようなコラボレーションはいいと思います。静と動のバランスが取れていましたので!(40代・女性)
- 感謝の気持ちを言葉にして伝えること、日常の一言一言を大切にすること等がある。ありがとうございます。(60代・女性)

スピーチコンテスト感想

- 「平等」ではなく、「対等」であるとの発表に、それぞれの役割をわきまえながら、お互いを認め合いながら生活することを改めて思いました。(40代・女性)
- 男女共同参画について良い発表会でした。若者も差別、区別を理解し、社会を変えてくれるものと考えます。(50代・男性)
- 皆さんが色々な観点から「男女共同参画」について考え、いきいきと発表されているのに感心させられました。(60代・男性)
- 女性剣道への取組み、素晴らしいですね。家庭の大切さ、今一番大切な事だと考えます。男女共同参画社会での女性の立場、男性も女性も意識改革が必要です。男は仕事、女は家庭 教育がその原点、賛成です。(60代・男性)
- 男女共同参画、男女平等、男だから、女だから私たち60歳代ではいまだに昔の考え方の人たちが大勢あると思います。若い人たちが今から年をとっていくにあたり、だんだんと変わっていくのでは。(60代・女性)
- 普段使っている言葉の中にも男女を差別しているんだと思った。(高校1年生・女子)
- スピーチでは同じテーマでもさまざまな表現の仕方でも男女平等を発表していたので楽しかった。(高校2年生・男子)
- 差別は、人間の心の中にあるものであり、今を生きる私たちに男女共同参画のさらなる発展の可能性があったと思った。(高校3年生・男子)
- 竹尾さんのスピーチで就職の時の実際の話を聞いて、とても残念に思った。男性も女性も同じ立場に立つことができるようなものでなければならぬと思う。(高校3年生・女子)
- 将来を担う高校生の、生の声、思いを聞いてよかった。いまだ男女平等とはほど遠い社会と思うが、このように若い世代が意識をもって変えていければいいと思う。(30代・女性)
- 高校生のみなさんがそれぞれの角度からテーマをとらえて、自分の言葉で発表されていたところがよかった。(40代・女性)

高校生の皆さんに

インタビュー

11月2日に講演会に参加した桜ヶ丘高等学校の生徒の皆さんに「男女共同参画」について聞いてみました。



今回の講演会はどうでしたか？

「男女共同参画」のことを知らないまま、司会を引き受けました。自分の心の中に差が根づいていることに気づいた。(女子)



「男女共同参画」について学校では習ったけれど、スピーチのために勉強して、よく理解できた。(男子)



病気になるから結婚できないという困難を乗り越えた愛(相手を思う心)の強さは、すごいと思った。(女子)



自分の家庭の様子は？

父の仕事を支えている。母の支えが大きな力になっている。(女子)



母の入院中、お父さんが家事一切をこなしてくれたので母も安心できたと思う。(女子)

(女子)

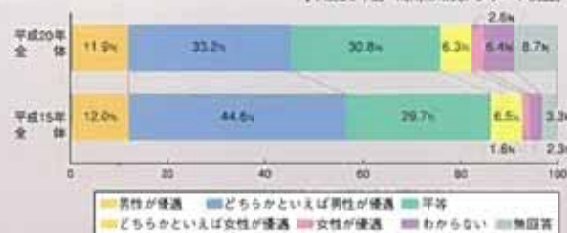


共働きなのに、家事は母だけがこなしている。(男子)

(男子)

「家庭の中」での男女の地位について

【平成20年度 南南市民アンケート調査】



今の社会の中は、男女平等だと思う？

平等ではないと思う。女性もどんな職業にもつけるようにしてほしい。(男子)



男子は「製造」、女子は「販売」といった色分けは、もう古い！(男子)



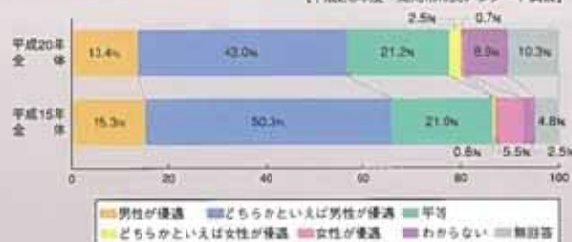
無条件の求人票なのに、実際は「男子」に限定されていることが多いと感じています。(女子)

(女子)



「社会全体」での男女の地位について

【平成20年度 南南市民アンケート調査】



将来、どんな男女共同参画社会になるといいと思う？

男女間に体力の差があっても、社会や周りの人の助けで住みやすい社会になると思う。(男子)



性別による就業の機会が、理由なく閉ざされることのない社会。(女子)

(女子)



家庭内で、男女を問わず役割を固定的に考えないのが、「当たり前」と思える社会になったらいいと思う。(男子)

(男子)

男女の地位の平等になるために重要な項目

【平成20年度 南南市民アンケート調査】



みんなが
いきいき
生きていける
ような
世の中にして
いきたいね!



介護についての相談は？ 困ったな... どうしよう...

私のまちの「地域包括支援センター」へ

住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるように、さまざまな面から総合的に支援する介護予防のための中核機関です。

*お住まいのご住所により、担当の地域包括支援センターが決まっています。

地域包括支援センター	担当地区	住所・電話
周南東部地域包括支援センター	熊毛地区・久米・柳浜・鼓南	周南市久米 752-4 0834-29-1155
周南市鼓海園地域包括支援センター	周南・桜木・秋月・岐山・大津島	周南市孝田町 1-38 0834-28-7055
徳山医師会地域包括支援センター	遠石・関門・中央・今宿・須々万 長穂・向道・中須・須金・鹿野地区	周南市慶万町 10-1 0834-32-9035
周南西部地域包括支援センター	富田・福川・和田・菊川・夜市・戸田・湯野	周南市古川町 1-17 0834-62-6301

様々な相談に対応します

住み慣れた地域で、安心して生活していくための総合相談窓口です

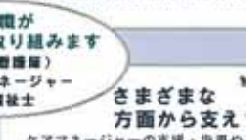


自立して生活できるよう支援します

介護予防の必要な人の生活に応じた支援計画を作成し、サービス利用のための調整を行います

高齢者の権利を守ります

権利保護・虐待防止の拠点です。成年後見制度の活用支援も行います



専門職が連携して、取り組みます
保健師(管理職)
主任ケアマネジャー
社会福祉士

さまざまな方面から支えます

ケアマネジャーの支援・指導や、より暮らしやすい地域にするための、関係機関との連携を図ります

誰にも起こりうる老老介護、86歳で日々挑戦の小松原の林 霞さんに聞きました。

妻は、4年前、突然アルツハイマー型の認知症を発症しました。最初は徘徊等で苦労しましたが、今は歩けないためその心配はなくなりました。

妻は、主治医のプランのもと週3日デイサービスを利用するほか、私に行事が発生した時は、ショートステイを利用しています。毎朝の二人の食事は私が作り、妻が在宅の日の昼食は患者用の弁当を届けていただいています。ヘルパーさんには毎朝夕来ていただき、顔拭き、オムツ交換、車椅子のお手伝いをして頂いています。私は近所の人たちとの料理教室、軽作業応援、あるいは川漁等で楽しく交歓し淋しい思いはしていません。長男一家は広島で勤務中で私が動ける間は自由に一人頑張るつもりで居ます。大型機械を導入し好きな農業は生きがいの一つです。

主治医から最も強調された道義は、「私が倒れたらもともこもない」でした。すべてのプランは私に無理がかからないよう設定していただいています。あらゆるサービス活用のお陰で自身に無理がかからず毎日無事生活できています。



トピックス

市役所にも多目的トイレがあります。

多目的トイレは障害のある方や小さな子ども連れのお父さん、お母さんご利用いただけます。



市役所(オムツ替えシート)

夜間・休日 子どもが急病の時は？

「周南こどもQQへ」



周南地域休日・夜間こども急病センター

(周南こどもQQ) 徳山中央病院内

☎0834-28-9650

周南地域の小児科医師が交代で診療しています!

診療時間

- 夜間(休日を含む毎日)
午後7時～午後10時(受付は午後9時半まで)
- 休日(日曜、祝祭日、8月15日、12月31日～1月3日)
午前9時～午後5時(受付は午後4時半まで)
午後7時～午後10時(受付は午後9時半まで)

「こどもQQ」を利用されたお母さんに聞きました。
周南市 M.Tさん お子様は4歳 男児

「こどもQQ」には2度お世話になりました。

1度目は昨年11月8日 日曜日でした。咳がとてひどく、食べたものも咳のせいで吐いてしまう状況でした。吸引していただき、薬をいただきました。後日、マイコプラズマと判明しました。

2度目は今年1月10日 日曜日。前日の夜から高熱が出て、日曜日の午後受診しました。

私自身がインフルエンザだったので、すぐに息子も検査をしていただき、結果はやはり陽性ということで、タミフルを処方してもらいました。

子どもは自分で症状を伝えることができないし、急に熱を出したりぐずったりするので親としてはとても心配です。「こどもQQ」では、夜間や休日でも小児科の先生に診ていただけるので、安心感はとても大きいです。

利用状況 (H20.12~H21.11)

夜間6,322人(一日平均17.3人)
休日5,297人(一日平均73.6人)

夜間の適切な受診にご協力ください!

- 「こどもQQ」の対象者は0～15歳までの内科的疾患の患者さんです。
- お子さんの体調が悪い場合には、早目にかかりつけ医を受診するように心がけましょう。
- 「こどもQQ」での投薬は原則1日分です。翌日は必ずかかりつけ医を受診しましょう。
- 重症のお子さんは、徳山中央病院内の二次救急に紹介されます。
- 小さなお子さんの発熱で心配なのは髄膜炎です。ヒブワクチンを接種することにより、髄膜炎になるのをかなり防ぐことができます。できるだけヒブワクチンを接種しましょう。



トイレに「おむつ替えシート」や「ベビーチェア」のある主な市内の公共施設

- 新南陽総合支所
- 熊毛総合支所
- 鹿野総合支所
- コアプラザかの
- ゆめプラザ熊毛
- 子育て交流センター
- 周南フレンドパーク
- 永源山公園
- 動物園
- 市民交流センター
- 徳山保健センター
- 前売場外オラレ徳山



ゆめプラザ熊毛(ベビーチェア)

男女共同参画推進員活動

～紙芝居を作成しました～

私たち「第3期男女共同参画推進員」7名は、毎月の定例会や各講演会、イベント等で、男女共同参画への理解を深め、地域への推進活動を行っています。その一環として、このたび、「2ヶ月のお留守番（男女共同参画ってなあーに?）」という紙芝居を作成しました。一致団結して、試行錯誤しながら、画は小泉英子さんにご協力いただいて、完成することができました。テーマは身近な家庭での各人の役割を取り上げたもので、男女共同参画について

2ヶ月のお留守番
（男女共同参画ってなあーに?）



考えていただくきっかけになれば嬉しいです。今後、この紙芝居を活躍させる場が増えることを願っています。

男女共同参画審議会委員は、男女共同参画に関わりの深い団体や機関から推薦を受けた人、学識経験者、公募で選ばれた方々です。市が取り組む男女共同参画行政に意見をいただいたり調査研究をしていただきます。

〈任期は平成23年10月31日まで〉

青木 澄代	女性団体	中川 明子	学識経験者
有國美恵子	地域活動	中村 俊孝	専門機関
今津 秀樹	地域活動	中村美代子	地域活動
岩崎 充	職域関係	松下 法恵	専門機関
大寺 和美	一般公募	丸山沙由里	職域関係
坂本 良夫	一般公募	三戸 則正	専門機関
杉村 真一	職域関係	三宅 公子	女性団体
近間 純栄	女性団体	八田 善穂	学識経験者
戸倉 正和	職域関係	(男性8名・女性9名)	

ひとりで悩まないで
相談して



どのような理由があっても、暴力は決して許されるものではありません。それは、パートナーへの重大な人権侵害であることに気付いてください。

配偶者からの暴力に関する相談窓口

配偶者暴力相談支援センター

(山口県男女共同参画相談センター)

・相談専用ダイヤル ☎083(901)1122

・DVホットライン ☎0120-238122

(緊急用)

最寄りの警察署

・周南警察署 ☎0834(21)0110

・光警察署 ☎0833(72)0110

山口地方法務局周南支局

☎0834(28)0244

こども家庭相談室

☎0834(22)8452

DV相談窓口ナビを開設

ここに電話

0570-0-55210 (有料)

配偶者からの暴力(DV)に悩んでいる人に相談窓口を案内する専用ダイヤルを内閣府男女共同参画局が開設しました。

自動音声案内に従い、居場所を指定すると、配偶者暴力相談支援センターなど登録されている相談窓口の中から、最寄りの相談先の電話番号や相談受付時間などが紹介されます。(検索方法は下記)

自動音声案内による検索方法

- ①郵便番号検索：郵便番号の上3桁を入力
- ②地域区分検索：ガイダンスに従い都道府県の別を指定

編集後記

今回、偶然にも高校生と高齢の方の取材をさせていただきました。二つのテーマは、現在非常に大事な案件でしたが、それぞれが立派な考え方や信念で過ごされていることに安心と喜びを感じました。 橋本 徹

この度桜ヶ丘高等学校のみなさんにお話を伺いましたが、皆さんの意識の高さにとっても驚き、そして希望の光もみえてきました。これからの社会を作っていく若い皆さんが、今磨かれた糧を大きく育てていってくれば、きっと将来は明るいものになりますね。

渡邊 良子

今回、高校生の男女共同参画社会についての意見を聞くと、近い将来には、男女が共に何の差別もなく暮らしていける時代が来るのかなあ…などと、明るい想像をしながらじょいんと編集に關らせていただきました。

古木 緑

「じょいんと」誌の編集にかかわって、わたし自身が多くのことを学びました。今回取り上げた公的・機関・施設等を利用する際に、今号の特集が、市民のみなさんに役立つ手引きになっていればいいな、と思っています。

藤本 隆香

問い合わせ先

〒745-8655 周南市岐山通1-1 周南市人権推進課男女共同参画室

☎0834(22)8205 ☎0834(22)8468 Eメール jnken@city.shunan.lg.jp